

事業所名

こどもサポートあすか

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025年

10月

1日

法人（事業所）理念		【こどもたちの「あす」をひらき、自分らしく生きる力をはぐくむ】 多様な体験と対話を通して自分を感じ、考え、表現する力を育てます。 子どもたちが安心できる環境の中で、ちいさな挑戦や試行錯誤を積み重ね、未来へ一歩ずつつながるサポートを行います。							
支援方針		～自分を知って、自分らしく生きる力を育てる～ 子どもたち一人ひとりが、自分の「好き」「得意」に気づき、「できた」を重ねながら、自立への土台をはぐくめるよう支援します。 体感統合を基盤に、ライフスキルトレーニングやSST、社会体験・就労準備を組み合わせながら、発達課題や興味関心に応じて、自己理解・自己選択・自己決定ができる力を多角的に支援します。							
営業時間		9時	30分	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基本的な生活習慣（食事・排泄・清潔）を個々の自立度に応じて定着できるよう支援します。習慣化していくことで衛生面の意識や実践力を高めていきます。 身だしなみ、体調のセルフチェックなど、日常生活に必要な衛生・健康管理の力を身につけるプログラムを実施し、視覚的スケジュールやモデル提示を活用しながら、見通しと達成感を大切にしながら行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動を通して、姿勢保持・筋力・柔軟性・バランス感覚などの身体的な効果をはかります。 多様な運動器具を取り入れ、道具を使いこなすことで身体操作力を養います。 リズム、芸術、造形活動など五感を刺激する創作体験を取り入れ、身体から心の安定へとつなげます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持った行動や順序だてて考える力を育てるために、課題遊びや製作、ゲーム活動を行います。 SST（ソーシャルスキルトレーニング）などを通して、集中力・自己コントロール・問題解決力をはぐくみます。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じた言葉の使い方（挨拶、お願い、謝罪など）をロールプレイで学んだり、質問に対して「はい」「いいえ」で答える、または一文で言える練習を段階的に行っていきます。 言葉だけに頼らず、表情・ジェスチャー・視線・絵や写真など、様々な手段を使ったコミュニケーション力の獲得を目指します。子どもの得意な表現方法を活かしながら、「伝える楽しさ」「わかってもらえる安心感」を積み重ねていきます。 感情のこぼし（うれしい・悲しい・くやしいなど）を言葉にし、自分の気持ちに気づく力、そして気持ちを落ち着ける方法（深呼吸、クールダウンの合図など）を学ぶことで、自己調整の力を育てます。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での遊びや共同作業、役割活動などを通して、他者とのかかわり方や集団でのマナー、ルールを体験的に学ぶ機会を作ります。 感情のコントロールや相手への共感力を育て、自分らしい関係を築けるようにします。 地域交流や異業種との連携イベントを取り入れ、多様な関係性の中で「働く」や「社会に参加する」ことへの関心をはぐくみます。 将来的な就労や社会参加への基礎作りを目的とした体験活動も計画的に実施します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 療育中の様子など子どもの情報提供や定期的な療育内容の調整を行っていきます。 ペアレントトレーニングの要素を取り入れ、発達特性の理解と家庭での実践につなげられるよう定期的なフィードバックや個別相談を行います。 保護者同士の交流会を設け、孤立を防ぎ共感と学びのある支援ネットワークを形成します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 進級、就学などのスムーズな移行を目指し、段階に応じた連携・支援を実践していきます。（サポートファイルかけはしの記入等） 就学、ライフステージの変化などに対して必要に応じて確認し、支援に活かしていきます。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 医療、保育、教育、福祉など地域の関係機関と連携し、状況に応じた情報提供、必要な支援機関へのつなぎを積極的に図ります。 地域イベントや交流を通じて、社会とのつながりをはぐくみ、地域全体での育ちを支える環境づくりに努めます。 ボランティア受け入れや外部講師による体験活動を取り入れ、社会との接点を広げます。 地域資源とのネットワークを活かし、より多様な支援を届けます。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修・ケースカンファレンスを通じて、専門性の向上と支援の質の均一化を図ります。 各職員がミッション・ビジョン・バリューに共感し、子どもと本気で向き合う姿勢が持てるよう支援します。 チームで支えあい、共に学び、共に育つ職場環境を大切にします。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 地域交流、家族交流など、あすか以外の子どもや大人とかかわるイベントの開催 季節に合わせたイベントの実施（例：誕生会、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分など） 							